

ファミリーキャンプ2026

活動報告



広島市青少年野外活動センター・こども村

2026/6/16作成

実施概要

【目的】

小学生を含む家族を対象に、豊かな自然の中での野外炊飯やキャンプファイアーなどの機会を提供し、人や自然との出会いを通じて、新たな価値の発見や心の成長を促すことを目的とした事業です。

【定員・応募数】

小学生を含む家族 9 家族・ 31 家族（118 人）

【参加者】

9 家族（30 人）

【告知の方法】

- ・ 市民と市政に掲載（令和 7 年 5 月 1 5 日号）
- ・ 青少年野外活動センター・こども村
ホームページへ案内を掲載

今年こそ、家族で
テント泊に挑戦してみない？

キャンプの知識や特別な道具は
無くても大丈夫！

非日常の中で
家族の特別な思い出をつくらう！

思い出
自然 家族

**ファミリー
キャンプ**

対象：小学生を
含む家族

■ 幼児・中高生は？ ■
対象が小学生を含む
家族のため、弟や妹も
参加できます。もちろ
ん、中学生や高校生
の家族も参加できます。

■ 2026年度 開催日 ■
6月13日(土)
10:00~
6月14日(日)
~11:15

■ 内容 ■
1日目 ランプシェード作り
火おこし体験 夕食作り
キャンプファイアー テント泊
2日目 朝食作り 小枝クラフト
※ 天候により内容が変更となる場合があります。

■ 申込み ■
参加申し込み
はHPで行い
ます。詳しく
はこちらから。

■ 昨年の様子 ■
昨年は1日目に雨が
降りましたが、無事に
開催することができま
した。小さな子供たち
が殻をむいてくれた板
チョコの「焼製卵」が
大好評でした！

■ 最後まで参加できるか心配・・・ ■
参加する保護者の方のほとんどが、小さな子供たちを連れ
て最後まで参加できるか心配を感じています。しかし、幸い
にも、毎年多くの家族も最後まで参加していただいています。
「ぜったいにこうしなければならない」ということはない
ので、プログラムの途中で、親子で散歩に出かけたり、テ
ントで休憩することもできます。人手が足りない場合は、
ふっと職員が加わり、手伝ったりしています。「なんと
かなるか」とい、どっしり構えて、そして、子どもたちを信
じて、参加申込いただければと思います。

公益財団法人 広島市文化財団
広島市青少年野外活動センター・こども村
TEL 082-835-1444
Mail yagai-ac@cf.city.hiroshima.jp

【当日のスケジュール】

6 月 1 3 日（土）		6 月 1 4 日（日）	
10:00	はじめのつどい	7:00	野外炊飯（カートンドック他）
10:15	ランプシェード作り	9:00	小枝クラフト
12:00	昼食（持参）	11:00	おわりのつどい
13:30	火おこし体験		
14:30	野外炊飯（すき焼き風煮・燻製）		
18:00	キャンプファイア		
19:00	入浴		
20:30	フリータイム		
21:30	就寝		

プログラムについて

■ランプシェード作り 担当 いっしー

(内容)

竹を加工してランプシェードを作りました。使った道具は「くりこぎり」。コの字形の曲がり柄を回転させて穴を開けるドリルです。こどもたちは保護者や職員と一緒にくりこぎりを使って、竹に穴をあけて、ランプシェードを作りました。材料選びからデザインまで自分で決めて、自分で作り、ゴールも自分で設定します。大人の方も夢中になる時間となりました。太陽に照らすと、仕上がりが見分かります。誰かが見つけた方法です。



■火おこし体験 担当 シュガー

(内容)

まい切り式火おこし器を使った火おこしをしました。野外炊飯をするために、火が必要です。こどもたちが中心となって火を起こしました。はじまるとあっという間に、全ての家族が火をおこすことができました。

■野外炊飯 担当 すき焼き：タッチー 燻製：しょうちゃん

(内容)

薪を使ってかまどで火を起こし、すき焼き風煮を作りました。材料と炊飯用具の下準備は親子で行いました。かまどの火力に注意しながら炊飯を行いました。こどもたちは、ピーラーを使って人参の皮をむいたり、包丁で野菜を切ったりしました。同時にサクラのチップを使った燻製作りの紹介も行いました。



■キャンプファイア 担当 タッチー しょうちゃん シュガー

(内容)

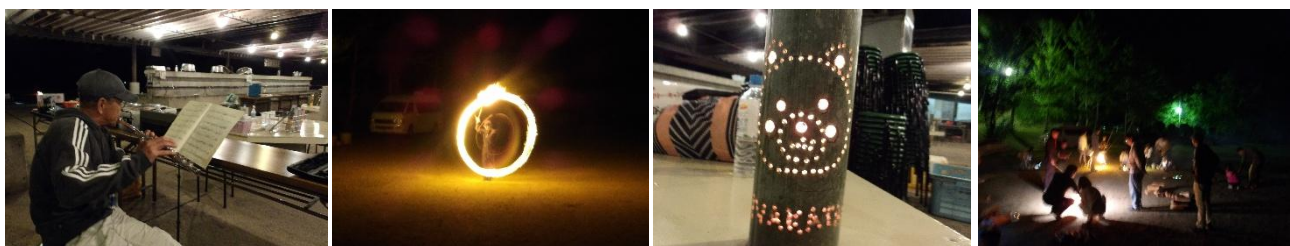
こどもたちの就寝時間を考慮し、ちょっと明るい時間からはじめたキャンプファイアーでは、参加者全員で、牛頭山の神様にお願いをして井桁に点火をしました。その後は、家族で楽しむゲームや家族を超えてみんなで楽しむゲームをしました。



■フリータイム

(内容)

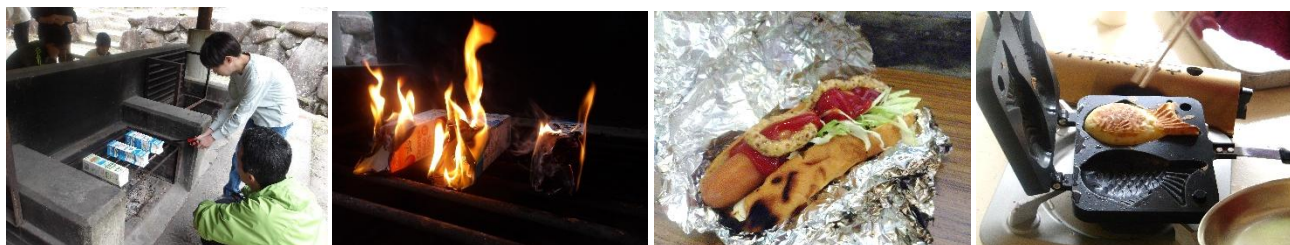
入浴後のフリータイムでは、家族ごとに持参した花火をしたり、ランプシェードを使ってみたりして、ゆっくりと過ごしました。また、お楽しみの時間として、職員によるフルートの生演奏やトーチサービスの披露、マシュマロ焼き体験も行いました。



■野外炊飯 担当 調理：タッチー ジャム作り：しょうちゃん

(内容)

ホットケーキを作りました。いつもどおりフライパンで焼いても、型焼きで焼いてもいいようにしました。型焼きでは「たい焼き」・「ワッフル」・「ホットサンド」などの型を使用しました。ホットケーキには、ブルーベリージャムをつけて食べました。



■小枝クラフト 担当 いっしー

サクラの木やリュウブの木を使ったクラフトを行いました。のこぎりで切ったり、小刀で削ったり、きりで穴を空けたり、ボンドでくっつけたりしながら、自分の作品を自由に作りました。



こどもたち、保護者、職員、みんなでキャンプを作ろう！

■人との繋がりを生み出す工夫

野外活動センターの主催事業では、自然体験活動の機会の提供のほかに、参加者の「人と人との繋がり作り」にも力を入れています。

今回の事業では、はじめのつどいの際に、各参加家族代表の方によるあいさつをお願いしました。お父さんやお母さんがあいさつをする家族が多かったですが、なかには子どもたちが挨拶をするご家族もありました。自然と拍手が出ました。

また、プログラムの合間の時間には、プログラムのポイントをこっそり教える事前指導や、こどもたちを集めて簡単な仲間作りゲームをしました。夜のフリータイムでは、フルートの生演奏やトーチサービスを行いました。これらは、人が集まり、繋がりを生み出すための工夫です。

